小中一貫教育実践校

大泉学園中学校・大泉学園小学校・大泉学園緑小学校

中学校区の特色

・10 の分科会設定による小中学校の教員の交流と情報交換
・教科指導の課題を共有する課題改善カリキュラムの作成、実践、見直し、改善
・児童の中学校訪問、授業体験、部活動体験と見学

目指す児童生徒像

前向きで教師の指導を素直に受け入れる子供が多い。反面少々のつまずきで友人関係を損ない、学習意欲や登校意欲を低下させてしまう子供もいる。そのような実態を鑑み、以下の目指す児童生徒像を掲げる。
・基礎的基本的な学力を身に付けた児童生徒
・自信をもって進路を開拓していく児童生徒

Ⅰ　小中一貫教育の推進

1　目指す児童生徒像に向けて

(1) 基礎的な学力・体力の向上

・全ての教員が小中一貫教育に主体的に関わるために、少人数による 10 の分科会を設定した。課題改善カリキュラムの作成、実践、見直しを通して、小中学校の教員が互いの理解を深めて課題の解決に取り組む。

(2) 豊かな人間性・社会性の育成

・6 年生の中学校訪問、授業体験、部活動体験･見学を通じて中学校生活のイメージ化を図る。
・不登校・問題行動・特別な支援を要する児童生徒についての協議と日常の情報交換を行う。

6 年生の部活体験・授業体験

・あいさつの励行など、発達段階に応じて基本的な生活習慣を向上させる。

(3) 安定した学校生活

・養護教諭分科会を設定し、児童生徒や保護者に関する情報交換を行う。校区別協議会をきっかけに、日常的に児童生徒に関わる情報交換を教員同士が行う体制を作る。
・部活動体験や中学校での授業体験を行うことで、6 年生に中学校での学習や生活の見通し、目標を持たせる。

2　教育プラン推進のための推進組織

小中一貫研究　校長連絡会
↓
小中一貫教育研究推進委員会
校長、副校長、小中連携クリエーター
↓
校区別協議会　年３回の全体研究会
↓
研究分科会
小中の教員による各教科領域等の分科会

主な予定（年間計画）

・5 月　校長連絡会、研究推進委員会
・6 月　校区別協議会
・8 月　校区別協議会　小中合同講演会
・9 月　小中校長連絡会
・10 月　6 年生授業・部活動体験
・11 月　校区別協議会
　　研究推進委員会
・12 月　研究推進委員会

Ⅱ　実践校の特色ある取組

1　成果と課題

(1) 学力・体力の向上

・年 3 回の校区別協議会での 10 の分科会すべてで、小中学校教員の活発な議論が展開された。6 月は生活指導の情報交換と課題改善カリキュラムの重点目標について、8 月は小中合同の講演会と課題改善カリキュラムの内容の見直し・確認、11 月は小中で実践した内容を持ち寄り、各教科 9 年間を見通したカリキュラムを考えていった。課題改善カリキュラムの実践を通して、児童・生徒の学力・体力の向上を図っている。

(2) 豊かな人間性・社会性の育成

・6 年生児童が中学校に行き、中学校についての説明や中学校教員の授業を受けたり、中学生から生徒会・部活動・海外派遣等の話を聞いたりした。児童の中学校生活での不安を取り除き、中学校での生活への期待を膨らませたことが、中 1 ギャップの解消につながっていくものと思われる。

・児童・生徒の豊かな人間性を育てるためには、まず先生方の人間性を高めていく必要があるという考えから、夏季休業中校区別協議会を設定した。落語家を講師に招き、表現力や人の心を掴む話し方などについて小中合同の研修を行った。

・校長連絡会では、小中一貫教育を進めていくという話だけではなく、課題のある児童や生徒・保護者に関する情報も積極的に交換した。児童・生徒への指導方法や保護者対応についても大きなヒントを得ることができた。

(3) 安定した学校生活

・小中一貫教育の実践について、基本方針を校長連絡会で立案し、クリエーターを中心とした推進委員会で具体化し、年 3 回の校区別協議会を充実させていった。教員の連携が深まったことが、児童・生徒の安定につながっていった。

・1 回目の校区別協議会は小中一貫教育校大泉桜学園で行った。１～９年生の授業を参観し､桜学園の先生との情報交換を通して､小中教員がお互いの理解を深めていった。

・養護教諭分科会は小中学校の児童・生徒や保護者対応に関する３校の連携に大きな役割を果たした。兄弟姉妹関係についての情報交換は特に有効であった。特別な配慮を要する児童・生徒についても、小中学校で同じような対応の仕方を考えていくことができた。

Ⅲ　今後の取組

・生活指導に関わる情報交換をさらに充実させ、３校の児童・生徒の健全育成という視点に立った実践をさらに進めていく。

・中学校卒業後の進路選択に際して、小中学校９年間の学習がどのように生かされていくのか、小中学校の教員同士で情報を共有できるようにしていく。

・次年度も年に 3 回校区別協議会を計画する。6 月は大泉学園緑小学校、8 月と 11 月は大泉学園中学校を会場として実施する予定である。